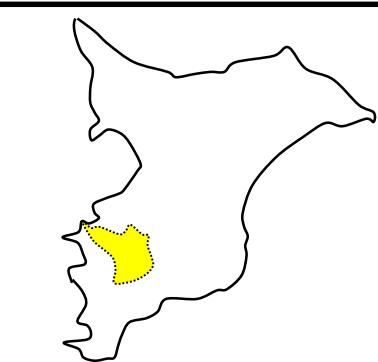


# 令和7年度 君津市地域公共交通活性化協議会（千葉県君津市） (地域内フィーダー系統確保維持事業)

## 地域の公共交通等の現況・課題／補助対象系統の位置付け

本市は房総半島のほぼ中央に位置し、県下第2位の面積を有している。市内の生活路線バスは、自家用車の利用を前提としたライフスタイルの定着や少子高齢化等の影響により、利用者数は低迷しており、運行を維持確保するために大きな財政負担が生じている。

当該路線は地域住民や観光客等の二次交通・フィーダー交通としての役割を担っている。



## 補助対象系統の需要・現況・課題／活用したデータ

当該路線が運行する小櫃地区及び上総地区は、JR久留里線や高速バスが運行されているものの、路線バス等の生活交通が運行されていない交通不便地域であり、高齢者等の通院や買い物等の移動手段のほか、JR久留里線や高速バスで訪れた観光客等にも利用されている。

さらなる利便性及び運行収支の向上のため、乗合乗車を促進や効率的な配車に向けた取組が必要である。

活用しているデータ:利用者数、バス停別乗降調査、予約不可状況

面 積	318.81 km <sup>2</sup>
人口 (R7.4.1時点)	79,142人
15歳未満	7,560人
65歳以上	26,814人
高 齢 化 率	33.9%

## 定量的な目標

デマンドタクシーの利用者数 15,000人(令和12年度)

## 目標を達成するために行う事業の今年度実施状況／来年度に向けた取組の検討

- ・自治会にチラシを回覧して、デマンドタクシーが乗合交通であることを周知し、乗合乗車の促進に取り組んだ。
- ・観光者向けのチラシを観光交流センターに配架し、デマンドタクシーの利用促進を図った。
- ・市広報誌（10月号）で公共交通に関する特集を組み、公共交通への転換を促した。
- ・令和7年度における目標値を関係者と共有し、目標達成に向け運行効率の向上に努めるよう相互理解を図った。
- ・引き続き、乗合交通の特性を周知し、一人でも多く利用できるようにする。

## アピールポイント

運行区域である小櫃地区及び上総地区は、豊富な観光資源を有する地域であるため、地域住民だけでなく、JR久留里線や高速バスで訪れた観光客等の利用についても対応している。

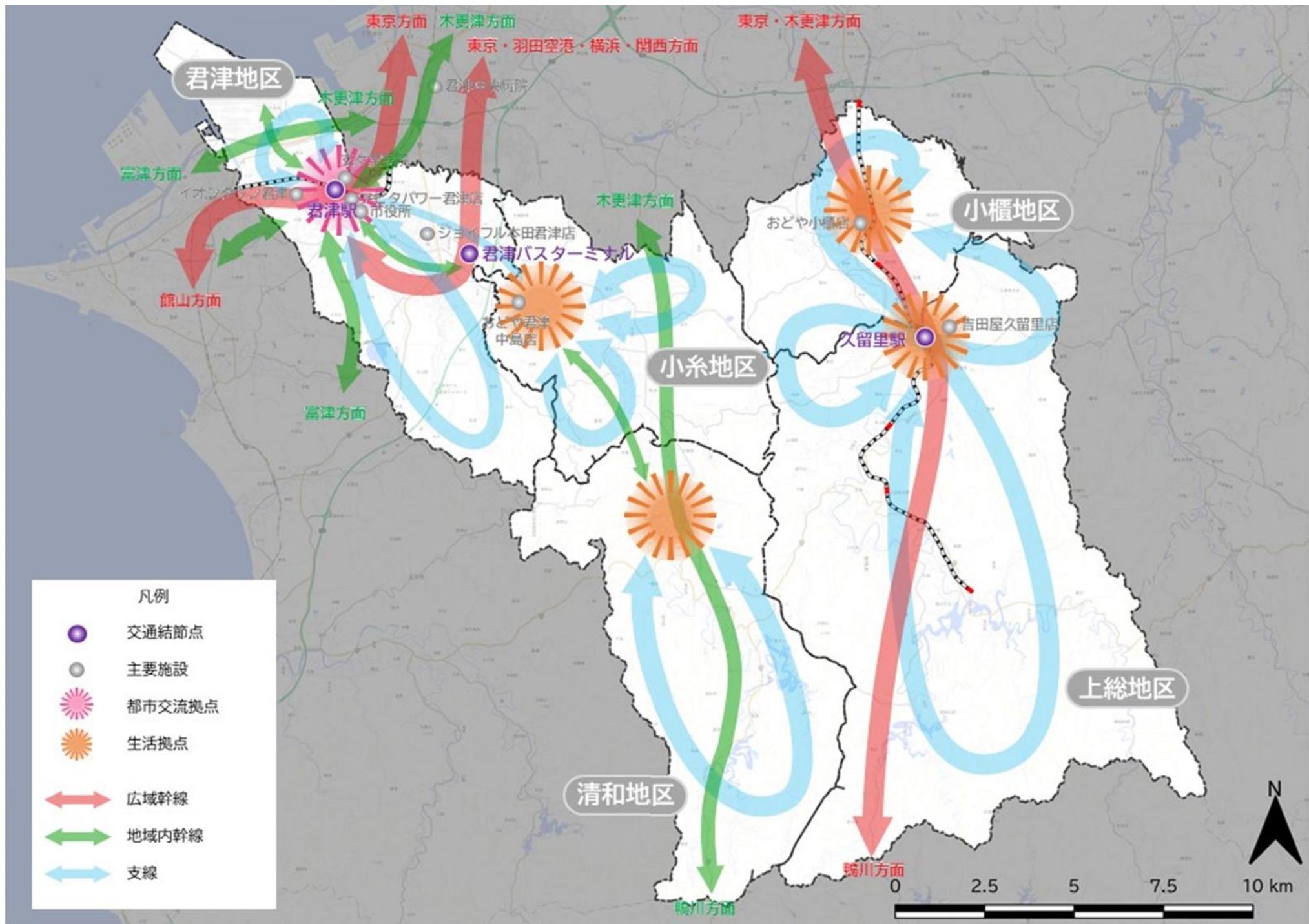
## 交通計画の計画期間

令和6年4月～令和13年3月

## 協議会開催状況

令和6年度  
・第2回(令和7年1月17日)  
地域公共交通確保維持改善事業の事業評価(案)について ほか  
・第3回(令和7年3月17日)  
取組管理シートに基づく評価について ほか

令和7年度  
・第1回(令和7年6月23日)  
君津市地域公共交通計画別(案)(地域間幹線系統・フィーダー系統)の策定について ほか



## ◆実績データ（利用者数、収支 等）

### ○令和6年度（令和6年10月～令和7年3月）

利用者数	5, 223人
収入	1, 585, 000円
支出	19, 972, 700円
収支率	7. 9%

### ○令和7年度（令和7年4月～9月）

利用者数	5, 494人
収入	1, 681, 500円
支出	19, 958, 400円
収支率	8. 4%

## ◆利用促進の取組等

○自治会にチラシを回覧して（令和7年1月）、デマンドタクシーが乗合交通であることを周知し、乗合乗車の促進に取り組んだ。

○観光者向けのチラシを観光交流センターに配架し、デマンドタクシーの利用促進を図った。

○市広報誌（10月号）で公共交通に関する特集を組み、公共交通への転換を促した。